CHUBU

取扱説明書（保証書付）

型式　ＤＤ－１３ＳＡ　　ＤＤ－１３ＢＡ

　　ＤＤ－１５ＳＡ　　ＤＤ－１５ＢＡ

電磁コンロ

●安全に正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

●十分に理解されるまでお使いにならないでください。

●この取扱説明書はすぐに取り出せるように大切に保存してください。

●この取扱説明書で「警告」は守らないと重大な人身事故の可能性があることを示し「注意」は守らないと中程度、または軽傷の人身事故の可能性があることを示します。

●仕様および外観は性能向上のため予告なく変更する場合があります。

もくじ

1 各部の名称……1

2 安全のため必ず守ってください……2

3 設置および使用前の準備……6

4 使用方法……7

5 日常の点検とお手入れの方法……11

6 消耗品の紹介 ……11

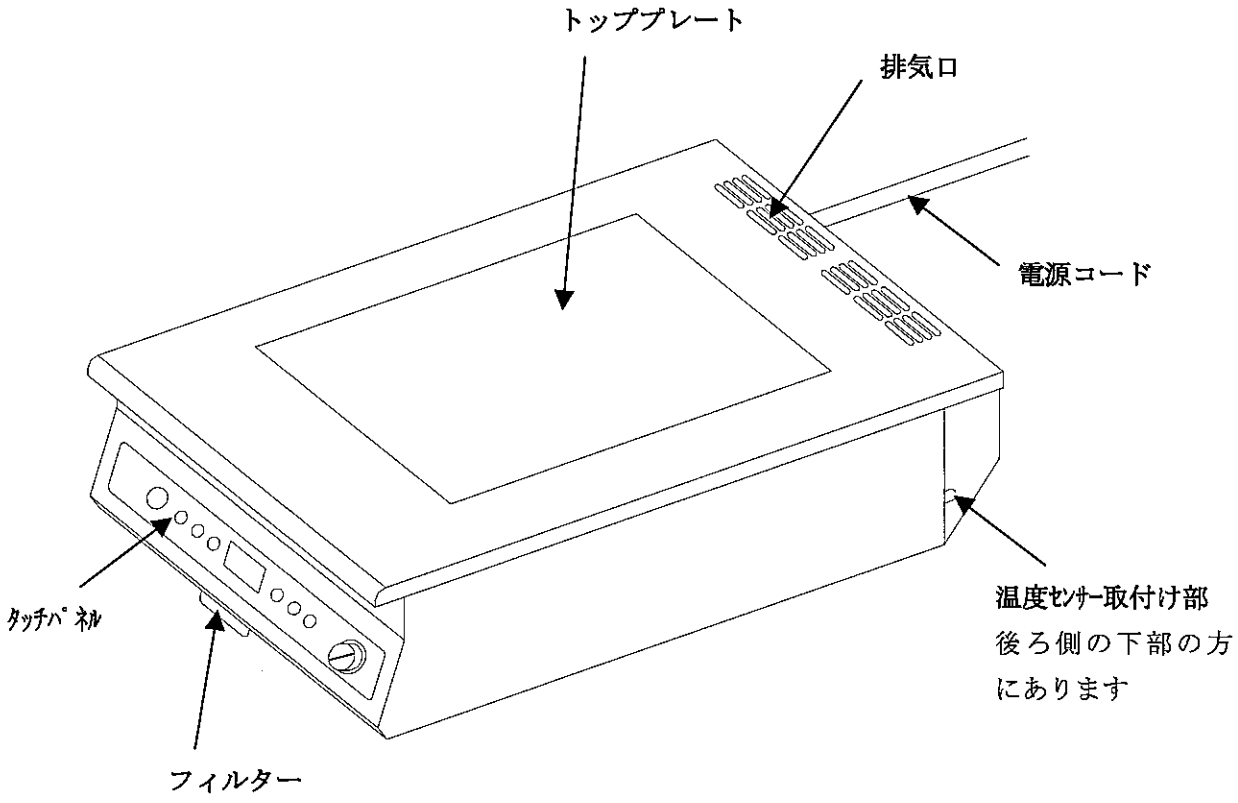
7 故障の見分けかたと処置方法……12

8 仕様 ……13

保証書 ……巻末

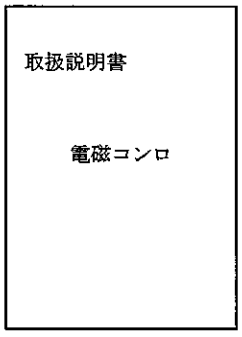
株式会社 中部コーポレーション

1 各部の名称

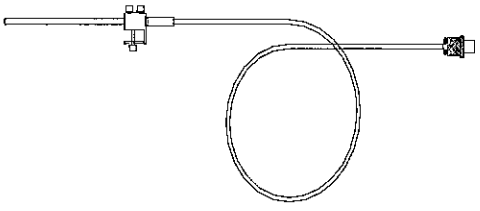


付属品

取扱説明書（保証書付き）



温度センサー
（ﾒｰｶｰｵﾌﾟｼｮﾝ）



2 安全のため必ず守って下さい

●ご使用になる前に、この「安全のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
⚠ **注意**	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

注 意	△は注意（危険・警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。
分解禁止	⃠ は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⃠ の中や近くに絵や文章で示します。
プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警 告

●お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること
もし、損傷があれば運送会社へ損傷の状況を（梱包の箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガ等の原因となります。

損傷確認

●アース工事を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
（電気工事業者によるＤ種設置工事が必要です。）

アース工事

●絶縁試験（メガーテスト）をしないこと

メガーテストを行うと、製品が焼損または破損します。

禁　止

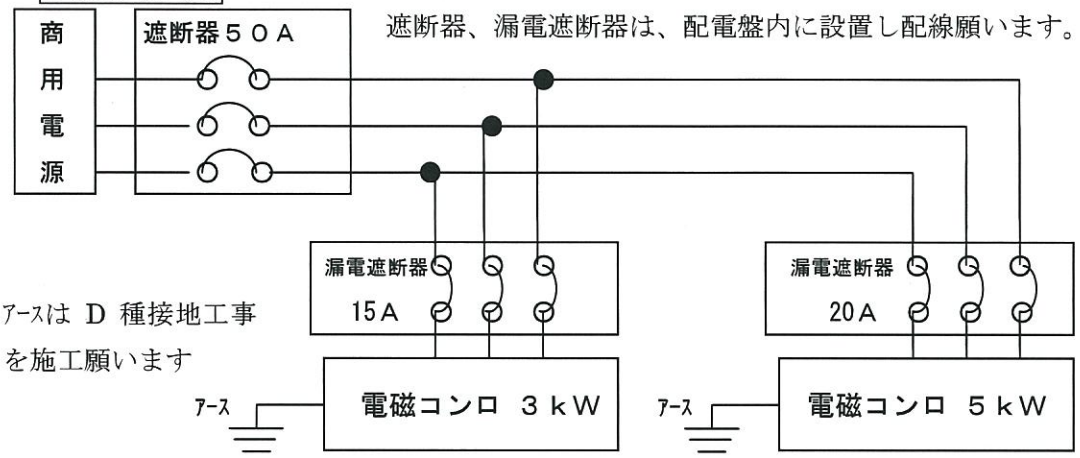
●本製品の１台につき１個の高周波対応型漏電遮断器（地絡過負荷・短絡保護兼用形）感度電流 30mA を以下のように設置すること

３ｋＷの製品については定格１５Ａ以上の漏電遮断器を５ｋＷの製品については定格 20Ａ以上の漏電遮断器を以下の結線図のように設置をして下さい。

漏電遮断器設置

２台設置の場合

遮断器、漏電遮断器は、配電盤内に設置し配線願います。



●電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。（電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認して下さい。）

専用電源

●屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。

屋外禁止

●本機は業務用ですので子供だけで使わせないでください

感電、ケガの原因になります。

禁　止

●電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁　止

●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと
ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

点検掃除

●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、操作をしないこと
感電の原因になります。

濡手禁止

●異常時は、運転を停止し電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

●使用後のトッププレートは熱くなっていますので手を触れないこと
使用後しばらくは、鍋の熱でトッププレートが熱くなっていますので、手を触れないでください。火傷をすることがあります。

接触禁止

●トッププレートに衝撃を加えないこと
トッププレートはガラスですので衝撃を加えると割れます。
トッププレートにひびが入ったり、割れた場合は、販売店に連絡して下さい。
有償にて修理を致します。そのままでの使用は絶対にしないでください。
異常作動や感電の原因となります。

禁　止

●鍋の底に物を敷いて運転しないこと
鍋の底に紙や布などの物を敷くと鍋の熱でその物を焦がすことがあります。
また、それによって製品が壊れる可能性があります。

禁　止

●鍋の中に何も入れずに運転しないこと
鍋の中に何も入れずに運転すると火傷、火事等で危険ですのでしないでください。また、それによって製品が壊れる可能性があります。

禁　止

●水、油等の液体につけたり、かけないでください。
感電、ショート、発火の原因になり、製品が壊れる可能性があります。
また、ふきこぼれ等の場合は加熱を停止し、拭き取って下さい。

禁　止

●心臓用のペースメーカーをご使用の方は、使用に注意してください。
心臓用のペースメーカーをご使用の方は、専門医師とよく相談の上、影響のないことを確かめてからご使用ください。

注 意

⚠ 注 意

●丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

●長時間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜くこと。
あるいは元電源を切ること
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

プラグを抜く

●廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること
放置しますとケガの原因になることがあります。

専門業者

●排気口をふさがないこと
排気口のすぐ側にものを置くと内部の温度が高くなり、保護装置が作動して加熱が停止されますが、電気部品が故障する場合があります。

禁 止

●鍋はトッププレートの中央に置くこと
トッププレートの指定の場所からずらしたり、鍋を置かずに加熱しますと、保護装置が作動して加熱が停止されｎＰが表示されます。ｎＰを解除するには、スﾀｰﾄ・ｽﾄｯﾌﾟキーを押して下さい。ただし、５秒以内に鍋を置くと保護装置は作動しません。

注 意

●磁気製品を近づけないでください
磁気製品を近づけるとそれが壊れる場合があります。

注 意

●電磁調理可能鍋以外は使用しないでください
電磁調理可能鍋以外の磁石に吸い付くもの（缶類、ナイフ、スプーン等）を加熱すると、火傷等の危険があります。下記に示す電磁調理可能鍋を使用してください。

禁 止

3　設置および使用前の準備

●丈夫で平らな所に水平になるように設置してください

本機は、正しく作動するために、水平な場所に設置してください。

●本機に水がかかる恐れがある付近には設置しないでください

電機部品に水がかかって火災・漏電・感電の原因となることがあります。

●電源は規格の電圧のものを使用してください

電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認してください。

●電磁調理可能鍋を使用してください

本機械において鍋の形状・材質・大きさにより使用できない鍋があります。以下のものを参考にしてください。

使用できる鍋

鉄、鉄ホーロー、鋳物、ステンレス（18-0, 18-10）等、磁石の吸い付く鍋で、鍋底の直径が１５cm以上で、底の平らな鍋、また、電磁調理器用に設計された鍋（土鍋等）

鍋底の直径が１５cm以下や底が平らでない鍋は加熱可能ですが、十分な加熱ができない場合があります。

注意

薄い鉄板等の鍋は、使用中にそる場合がありますので、なるべく厚手のものを使用してください。

使用できない鍋

ガラス、アルミ、銅、陶磁器、土鍋等の磁石に吸い付かない鍋

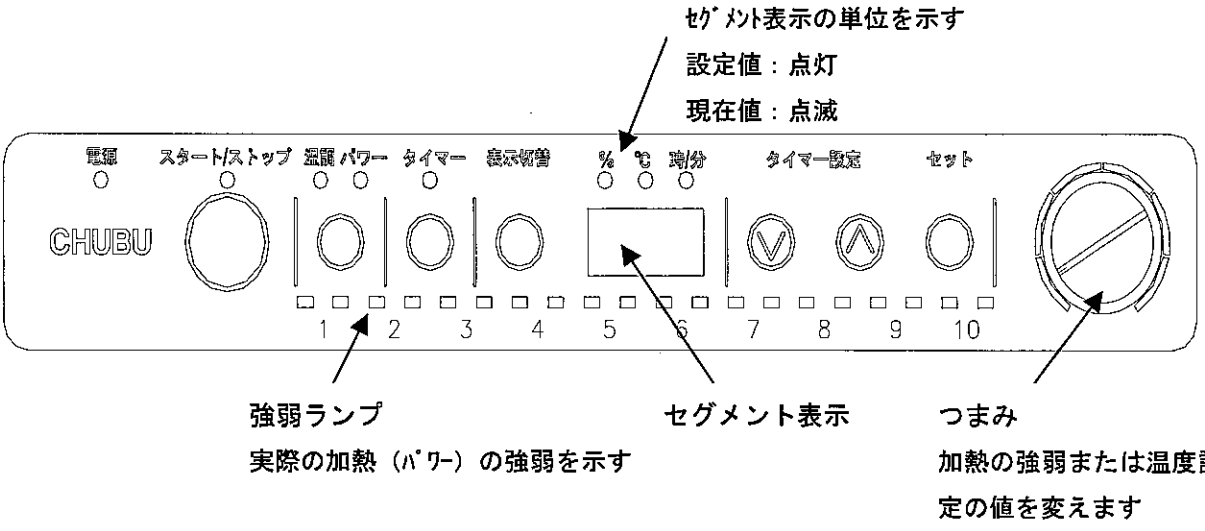
アルミや銅鍋等に鉄を溶射した鍋

注意

使用できない鍋を加熱させると保護装置が働き、警報ブザーが鳴りｎＰ表示がされ、加熱が停止します。解除する場合は[ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ]キーを押してください。

4 使用方法

コントロールパネルの説明（詳細図）



スタート/ストップ ○	加熱ＯＮ・ＯＦＦスイッチ　加熱時、ランプが点灯する 警報表示時の解除スイッチ
温調 パワー ○	パワー運転と温度設定運転の切替えスイッチ
タイマー ○	タイマー運転をするときのスイッチ タイマー運転中は、ランプが点滅する。
表示切替 ○	セグメント表示の表示切り替えスイッチ
∨ ∧	タイマー運転の設定をするときの値を変える上下スイッチ
セット ○	タイマー運転の設定をするときの決定スイッチ

1. 通常運転（ﾊﾟﾜｰ運転）

(1)電源を入れます。（漏電遮断器を「ON」にします。）
(2)ﾊﾟﾜｰﾗﾝﾌﾟが点灯しているのを確認する。
　温調ﾗﾝﾌﾟが点灯している場合、温調・ﾊﾟﾜｰｽｲｯﾁを押してﾊﾟﾜｰﾗﾝﾌﾟを点灯させる。
(3)ﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄの中央に加熱したい鍋（前頁の使用できる鍋に該当すること）を置きます。
　ｵﾌﾟｼｮﾝの温度ｾﾝｻｰを利用し、温度を測りたいときは、所定の位置にはめ込み、ねじを回してしっかりと固定して下さい。そして測りたいものにセットして下さい。

注　意
鍋はﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄの中央に置くこと。
ﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄの中央からずらしたり、鍋を置かずに加熱しますと、保護装置が作動して加熱が停止し、ｎＰが表示され、ブザーが鳴ります。
異常表示を解除するには、ｽﾀｰﾄ・ｽﾄｯﾌﾟｽｲｯﾁを押して下さい。ただし、5 秒以内に鍋を置くと保護装置は作動しません。

(4)ｽﾀｰﾄ・ｽﾄｯﾌﾟｽｲｯﾁを押すと加熱が開始されます。
(5)つまみによって加熱の強弱の調節ができます。
　ｵﾌﾟｼｮﾝの温度ｾﾝｻｰを取付けている場合は、表示切替ｽｲｯﾁを押すことによりｾｸﾞﾒﾝﾄ表示を　ﾊﾟﾜｰ設定　⇔　検出温度　に切り替えることができます。
(6)ｽﾀｰﾄ・ｽﾄｯﾌﾟｽｲｯﾁを押すと加熱が停止されます。

注　意
加熱を切りにしても冷却ファンが動いていますので、停止するまで元電源を遮断しないで下さい。

2. 温調運転（ｵﾌﾟｼｮﾝの温度ｾﾝｻｰを使用する）

(1)電源を入れます。（漏電遮断器を「ON」にします。）
(2)温度センサーを取付ける。
　温度センサーを所定の位置にはめ込み、ねじを回してしっかりと固定して下さい。
　そして測りたいものにセットしてください。
(3)温調ﾗﾝﾌﾟが点灯しているのを確認する。
　ﾊﾟﾜｰﾗﾝﾌﾟが点灯している場合、温調・ﾊﾟﾜｰｽｲｯﾁを押して温調ﾗﾝﾌﾟを点灯させる。

注　意
温度センサーが取り付けていない場合は、温調が使用できない様になっております。

(4)ﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄの中央に加熱したい鍋（前頁の使用できる鍋に該当すること）を置きます。
(5)ｽﾀｰﾄ・ｽﾄｯﾌﾟｽｲｯﾁを押すと加熱が開始され、自動的にﾊﾟﾜｰが調節されます。
(6)つまみを回すことによって、好みの温度に調節して下さい。
　（温度設定可能範囲：50℃～185℃）
　表示切替ｽｲｯﾁを押すことによって　設定温度（℃ﾗﾝﾌﾟが点灯）⇔　検出温度（℃ﾗﾝﾌﾟが点滅）の表示に切り替わります。
　検出温度は、35℃以下は35℃と表示し、正しい温度は表示されません。

注　意
温度センサーが温度測定物より外れて15分以上加熱された場合、警報ブザーが鳴り、SLが表示され、加熱が停止する保護装置があります。
解除するときはｽﾀｰﾄ・ｽﾄｯﾌﾟｽｲｯﾁを押して下さい。

(7)ｽﾀｰﾄ・ｽﾄｯﾌﾟｽｲｯﾁを押すと加熱が停止します。

注　意
加熱を切りにしても冷却ファンが動いていますので、停止するまで元電源を遮断しないで下さい。

3. タイマー運転

(1)加熱停止（あるいは加熱中）の状態にて、タイマースイッチを押す。
　　通常の状態にもどりたい場合、再度、タイマースイッチを押す。

(2)タイマーの時間設定を変更したい場合は、セットスイッチを押す。
　　表示された時間設定で運転したい場合は、(7)以降を行なう。

(3)時間の値を△、▽スイッチにて数値を変更する。
　時間は 0～9 まで入力できます。

(4)セットスイッチを押して時間を決定する。

(5)分の値を△、▽スイッチにて数値を変更する。
　分は、0 から 59 まで入力できます。

(6)セットスイッチを押して分を決定する。

(7)スタート・ストップスイッチを押して、タイマー運転（加熱）が開始される。
　表示切替スイッチを押すと、セグメントの表示が　タイマー時間 ⇒ パワー
　（温度）設定値 ⇒ 検出温度 の表示に変わります。ただし、検出温度はオプションの温度センサーを取付けている場合のみ表示されます。
　タイマー運転途中で、タイマー運転を終了したい時は、再度スタート・ストップスイッチを押してください。

(8)つまみを回すことによって、好みのパワー（温度）に変更できます。

(9)ブザーが鳴り、タイマー運転が完了し、加熱停止します。

(10)加熱停止中の状態にてタイマー運転を行なった場合は、続けてスタート・ストップを押すことにより、再度タイマー運転を行なうことができます。

5　日常の点検とお手入れの方法

1．フィルターの手入れ

(1) 電源を切って、電源ランプが消灯していることを確認してください。
(2) 本体の底のフィルターを引き抜いてください。
(3) 中性洗剤で浸け置き洗いをしてください。
(4) 自然乾燥をさせた後、組付けてください。

注　意
フィルターの手入れは１週間に１回を目安として行ってください。
使用環境が悪い場合や使用頻度が多い場合は、手入れの回数を増やしてください。

注　意
フィルターの無い状態や、フィルターが目詰まりした状態で運転をしないでください。
電気部品が壊れる原因となります。

2．ﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄの手入れ

ﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄ上が汚れた場合、かたくしぼった濡れふきんで拭き取ってください。

注　意
ﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄは常に汚れの無い状態で使用してください。
ﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄに付着物が付いた状態で使用を続けると、加熱力が弱くなります。

6　消耗品の紹介

1，フィルター

フィルターの目詰まりが取れなくなったら、新品と取り換えてください。
販売店に連絡していただければ有償でお送りします。

2，冷却ファンモーター

通常は３年に１回を目安として新しいものと取り替えてください。
交換作業は、作業専門者が行う必要がありますので販売店に連絡してください。
有償でお取り替えします。

7 故障の見分け方と処置方法

以下の処置方法を行っても直らない場合や、以下以外の症状が発生した場合は、元電源を遮断し、販売店に連絡をしてください。１年以内であれば無償、それ以降は有償にて修理いたします。

症状	原因	処置方法
電源ﾗﾝﾌﾟが点灯しない	電源コードが外れています	電源コードを正しく接続して下さい
異常ブザーが鳴り、停止した	セグメント表示にＯＨと表示された	本製品の内部にある冷却フィンが異常に温度上昇されたので、冷却フィンが通常の温度に下がるまで（ｽﾀｰﾄ・ｽﾄｯﾌﾟキーを押して解除されるまで）加熱をしないでください。またフィルターが目詰まりしている可能性がありますのでフィルターを掃除して下さい。
	セグメント表示にＣＨと表示された	本製品の内部にある加熱用コイルが異常に温度上昇されたので、通常の温度に下がるまで（ｽﾀｰﾄ・ｽﾄｯﾌﾟキーを押して解除されるまで）加熱をしないでください。またフィルターが目詰まりしている可能性がありますのでフィルターを掃除して下さい。
	セグメント表示にＬＵと表示された	電源電圧が不足電圧レベル以下、または瞬時停電が発生しました。正しい電源を使ってください。ｽﾀｰﾄ・ｽﾄｯﾌﾟキーを押すと解除されます。
	セグメント表示にｎＰと表示された	電磁調理用鍋を正しい位置に置いて運転していますか。トッププレートの真ん中に電磁調理用鍋を置き、ｽﾀｰﾄ・ｽﾄｯﾌﾟキーで解除をして運転をしてください。
	セグメント表示にＯＳと表示された	温度センサーが外れていませんか。正しく取り付けた後、ｽﾀｰﾄ・ｽﾄｯﾌﾟキーで解除をして運転してください。 解除できない場合、温度センサーが接触不良を起こしていませんか。販売店に連絡をして温度センサーの新品購入をして下さい。
	セグメント表示にＳＬと表示された	温度センサーが測定物より外れていませんか。温度センサーの感知温度が急激に下がったときに表示されます。確認後、ｽﾀｰﾄ・ｽﾄｯﾌﾟキーで解除をして運転をしてください。

症状	原因	処置方法
異常ランプが点灯した	セグメント表示にＥｒ１と表示された	本製品の内部にあるＣＰＵのメモリーに異常が発生しました。元電源を遮断し、再度入れ直して下さい。
	セグメント表示にＥｒ２と表示された	本製品の内部にあるＣＰＵに異常が発生しました。元電源を遮断し、再度入れ直して下さい。
本体のケースに手を触るとピリピリと不快な感触がある	●本体にアースが接続されていない。 ●本体に接続されているアース線が断線している。	●本体にアース線を接続してください。 ●本体に接続されているアース線の点検を専門業者に依頼してください。
加熱中に突然停止し、再加熱できない	●本体の故障 ●ﾀｯﾁﾊﾟﾈﾙの故障	販売店へ連絡してください。 １年以内であれば無償、それ以降は有償にて修理いたします。

8 仕様

型式	外形寸法 （幅×奥行き×高さ）	定格電源	定格消費電力	質量
DD-13SA DD-13BA	450x620x180 mm	AC200V 3相 50/60Hz	３ｋW±１０%	２２ ｋｇ
DD-15SA DD-15BA			５ｋW±１０%	２３ ｋｇ

保　証　書

品　名	電磁コンロ
型　式	DD－13SA　DD－13BA DD－15SA　DD－15BA
お買上日	※　　年　　月　　日
保証期間	1年
お客様の住所	※
お名前	※
販売店名住所	※

※必ず各欄をご記入下さい。

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から左記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品とこの保証書をご持参ご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

CHUBU

株式会社中部コーポレーション

●お客様窓口　TEL0594(32)1117(品質保証部)

〒511－0944　三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1

1．保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- ●誤った使用目的・使用方法・改造・不当な修理による故障または損傷。
- ●落下・引っ越し・輸送などによる故障または損傷。
- ●火災・地震など天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
- ●消耗品の交換(消耗品とは、フィルター・冷却用ファンモーター)
- ●保証書のないもの
- ●保証書の＊印欄に記入のないもの。あるいは字句を書き換えられた場合

2．保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。

3．保証書は紛失されても再発行いたしません。

4．保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

5．保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証(操業保証)はいたしません。

●修理メモ

アフターサービスについて

●保証書はお買い上げの販売店でお渡しします。記載内容をご確認の上大切に保管して下さい。紛失されても再発行は致しません。
●保証書にお買い上げ日、販売店など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げ店にお申し出下さい。
●万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
●詳細は保証書をお読み下さい。
●保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または、最寄りの各営業所までご連絡下さい。

CHUBU

株式会社中部コーポレーション

●お客様窓口　TEL　0594　(32)　1117（品質保証部）

フード機器事業部 ／ 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533-1　〒 511－0944
TEL　0594 (32) 2802(ダイヤルイン)　　FAX 0594 (32) 1115

東 京 ／ TEL　03 (5833) 9968　　大 阪 ／ TEL 06 (6788) 2251
中 部 ／ TEL　0594 (32) 1130　　福 岡 ／ TEL 092 (474) 1312